

# 学校・地域・家庭の連携に関する社会教育の取り組み

資料10

No.	名称	事業目的及び根拠	事業内容	令和4年度実績		令和5年度予定	
					決算額 (千円)		予算額 (千円)
1	社会教育委員会議	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から12名の社会教育委員を委嘱する。教育委員会が行う社会教育行政に対して、定例会や研修会などの活動を通して、行政外の立場から広く町民の皆さんの意向を反映した意見をいただき、社会教育活動の拡充や振興を図っていく。	●委員12名(任期:令和4年4月1日～令和6年3月31日、任期は2年) ●定例会において社会教育上の課題事項について審議する。	●定例会3回 別途1回は管外研修を実施	312	●定例会3回程度の開催を予定 別途1回は管外研修を予定 ●その他町行事への参加	605
				●研修会等への参加(山城地方総会、京都府総会、京都府研究大会、近畿地区研究大会)		●研修会等への参加(山城地方総会、山城地方研修会、京都府総会、京都府研究大会、近畿地区研究大会)	
2	青少年健全育成事業	乳幼児期から青少年期にいたるまでの諸課題の解決を図るため、各種研修会等を開催するとともに、児童・生徒に対する学習・体験の機会を提供する。 また、青少年の健全育成を図るための活動を進める社会教育関係団体等の活動を支援する。	●家庭教育のあり方を学ぶ「家庭教育学級のびのびコース」を実施する。	●家庭教育学級のびのびコース計18回(前期8回6組・後期10回12組のべ18組受講) ●委託業者:シージーエス	320	●家庭教育学級のびのびコース計10回(1期10回、のべ25組受講予定) ●委託業者:シージーエス	160
			●PTA連絡協議会に対する活動助成。各校PTAとの共催による講演会の実施する。	●PTA連絡協議会に対する活動助成 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業が中止になったため助成金の申請がなかった。	0	●PTA連絡協議会に対する活動助成	114
			●青少年健全育成協議会に対する活動助成	●青少年健全育成協議会に対する活動助成 ●防犯ブザー配布、夏季健全育成パトロール、青少年健全育成標語募集事業等	706	●青少年健全育成協議会に対する活動助成 ●防犯ブザー配布、夏季健全育成パトロール、青少年健全育成標語募集事業等	950
			●次世代の親となる中学生を対象とした子育て講座を実施する。	●精華中及び精華南中において、1学年と3学年を対象に助産師による講演を実施(学校教育課へ執行委任)	0	●学校教育課予算へ移管	0
3	子ども祭り事業	本町の「こどもを守る町」宣言や精華町教育大綱の趣旨を踏まえ、子どもが楽しみながら体験・学習し、世代を超えた人と人との交流を通して文化・芸術を伝承する機会とするため、地域全体が協働・連携し、様々な体験学習やイベントなどの取り組みを実施する。	●「精華町子ども祭り」を開催し、子どもたちに体験を通じた学習の場を提供する。	●令和4年11月20日(日)けいはんなプラザメインホール せいか祭り同日開催(教育委員会主催) ステージの部(4団体)、体験コーナー(精華まなび体験教室5小学校による合同開催)、観客約2,000名	1,710	●令和5年11月19日(日)けいはんなプラザ せいか祭り同日開催(ステージの部、体験コーナーの部)を予定  ●実行委員会構成団体 ◆精華町教育委員会 ◆精華町社会教育委員 ◆精華町立保育所 ◆精華町内幼稚園 ◆精華町小・中学校校長会 ◆精華町PTA連絡協議会 ◆精華町カラフル発達な子の親の集い ふらりーご ◆精華町文化協会 ◆精華町自治会連合会 ◆精華町民生児童委員協議会 ◆精華町ボランティアセンター運営委員会 ◆精華町青少年健全育成協議会 ◆精華女性の会 ◆精華町身体障害者協議会 ◆精華町老人クラブ連合会 ◆特定非営利活動法人精華町スポーツ協会	2,000

# 学校・地域・家庭の連携に関する社会教育の取り組み

資料10

No.	名称	事業目的及び根拠	事業内容	令和4年度実績		令和5年度予定	
				決算額 (千円)		予算額 (千円)	
4	地域で子どもを育てる連絡協議会	精華町地域で子どもを育てる連絡協議会設置要綱に基づく機関。関係団体等が緊密に連携し、地域全体の教育力の向上や地域の活性化を図り、もって、次代を担う子どもを育てる良好な環境づくりを推進する。	●精華まなび体験教室事業、地域学校協働本部事業、子どもの安全・安心な環境づくりに関することについて、関係機関及び団体と連携を行う。	●会議2回(8月、2月に書面開催による)	0	●会議2回	0
5	精華まなび体験教室事業	子どもたちの安全・安心な居場所を確保し、文化活動やスポーツ活動などを地域の方々の協力を得て実施することにより、地域社会の中で、子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進する。	●精北教室:年5～6回土曜日午前。学習、文化活動、異世代交流等。	●新型コロナウイルス感染症の影響により学校施設を使用した事業計画を立てることが困難であったので、殆どの計画が実施できなかったが、子ども祭り体験コーナーの部で、初めてまなび体験教室5校合同開催として、工作体験及びまなび体験教室事業のPRを行うことができた。また、各学校に1名配置するまなびコーディネーターと準備会・協議を6回開催した。	184	●年間3回、工作体験などを実施 ●コーディネーター7名、ボランティアで運営	882
			●川西教室:年5～6回水曜日放課後。学習、文化活動、異世代交流等。			●年間3回、工作体験などを実施 ●コーディネーター7名、ボランティアで運営	
			●山田荘教室:年5～6回水曜日放課後。学習、文化活動、異世代交流等。			●年間3回、工作体験などを実施 ●コーディネーター7名、ボランティアで運営	
			●東光小教室:年5～6回土曜日午前。学習、文化活動、異世代交流等。			●年間3回、工作体験などを実施 ●コーディネーター7名、ボランティアで運営	
			●精華台教室:年5～6回土曜日午前。学習、文化活動、異世代交流等。			●年間3回、工作体験などを実施 ●コーディネーター7名、ボランティアで運営	
			●令和元年度に策定した「精華町第2期放課後子ども総合プランに係る行動計画」に基づき、放課後児童クラブとの連携を進める。			●毎月の実施内容について情報提供する。 ●年間3回、工作体験などを実施 ●コーディネーター7名、ボランティアで運営	
6	地域学校協働本部事業	地域と学校が相互にパートナーとして連携・協力し、互いに意見を出し合い、学び合う中で地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深めることにより、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進し、地域の創生につなげて行く。	●平成20年度から、精華南中学校区(山田荘小学校・精華南中学校区サポーター会議)の地域学校協働活動に取り組んでいる。	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者のべ人数:精華南中学校、山田荘小学校約140名 ●ボランティアによる協働活動を実施	2,054	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得て、地域学校協働活動を実施	2,769
			●平成22年度から、精華中学校区(精華中学校コミュニティ協議会)の地域学校協働活動に取り組んでいる。	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者のべ人数:精華中学校、精北小学校、川西小学校約160名 ●ボランティアによる協働活動、コミュニティースクールとの連携に取り組む。		●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得て、地域学校協働活動を実施 ●コミュニティースクールとの連携を実施	
			●平成25年度から、精華西中学校区(精華西中学校区地域連携プロジェクト)の地域学校協働活動に取り組んでいる。	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者のべ人数:精華西学校、東光小学校、精華台小学校約140名 ●ボランティアによる協働活動を実施		●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得て、地域学校協働活動を実施	
				5,286		7,480	